# 機構経営しポー人

(2023年11月~2024年10月)



2024年12月23日 発行



## 【目次】

1.	組織の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
	1)事業所名及び代表者氏名 1   2)所在地・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
2.	環境経営方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
3.	環境経営目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
4.	環境経営目標の実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
5.	環境経営計画、取組結果とその評価・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
6.	次年度の取組内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
7.	環境関連法規への違反、訴訟等の有無・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
8.	代表者による全体評価と見直しの結果・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

#### 1. 組織の概要

1) 事業所名及び代表者氏名 鴟尾工業株式会社 代表取締役社長 中川 靖浩

2) 所在地

本社・倉庫 7881-0023 宮崎県西都市大字調殿 223-1 資材置き場 7881-0023 宮崎県西都市大字調殿 339

日向営業所 〒889-0611 宮崎県東臼杵郡門川町大字門川尾末 2 5 7 7 - 7 高岡営業所 〒880-1224 宮崎県東諸県郡国富町大字深年 4 4 3 1 番地 1 9 4

小林営業所 〒886-0003 宮崎県小林市堤2483番地

3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

EA-21責任者 : 青山 直人

EA-21事務局 : 上米良 貴美子 · 北 早苗

連絡先 TEL: 0983-42-3556 FAX: 0983-42-5934

メール : shibi@almond.ocn.ne.jp

4) 事業活動の内容

建設業(土木一式工事業、とび・土工工事業、管工事業、舗装工事業、解体工事業)

5) 事業規模

活動規模	単位	2021年	2022年	2023年
工事等の件数	件	20	23	20
従業員	人	15	18	19
事務所床面積 (本社)	m²	36	36	36
事務所床面積(日向営業所)	m²	6. 7	6. 7	6. 7
事務所床面積(高岡営業所)	m²	10	10	10
事務所床面積 (小林営業所)	m²			15
倉庫床面積	m²	50	50	50
資材置き場面積	m²	900	900	900

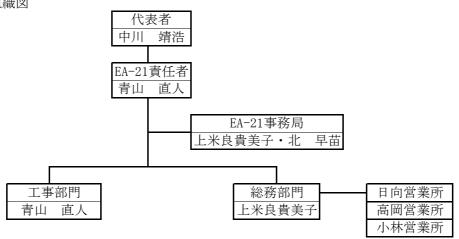
6) 対象範囲(認証・登録範囲) 鴟尾工業株式会社の全組織及び全活動

7) レポートの対象期間及び発行日

対象期間:2023年11月~2024年10月

発 行 日:2024年12月23日

8) 推進組織図



#### 2. 環境経営方針

# 環境経営方針

鴟尾工業株式会社は、積極的に環境問題を認識し、優先課題と 位置付けて、当社の事業活動のあらゆる分野で、自主的、積極的に 環境保全・環境負荷の低減に取り組み、循環型社会の構築に努め、 持続可能な社会の実現に貢献致します。

- 1. 当社は、建設工事の事業活動を通じて、経営における課題とチャンスを把握した上で、環境経営マネジメントシステムを構築し、環境経営目標・環境経営計画を定め、継続的な改善に努めます。
- 2. 関連する環境の法規制を遵守するとともに、行政機関・団体・地域の要請に協力します。
- 3. 建設工事事業に於いて、環境に与える影響を削減するために、次の 事項に対して優先的に取組みます。
  - ①化石燃料、電気使用量の節減による、二酸化炭素排出量の削減
  - ② 事業活動工程から排出される廃棄物の削減
  - ③ 節水活動による水使用量の削減
  - ④ 事業活動での、エコ商品の積極的使用及びグリーン購入
  - ⑤リサイクル活動の推進
- 4. 工事業務において、環境に配慮した施工計画の提案に努めます。
- 5. 環境保全に関する啓蒙・啓発と、地域での社会貢献活動に努めます。

この環境経営方針は、当社全従業員に周知徹底するとともに、一般に開示します。

2009年10月12日 制定 2019年12月18日 改訂

鴟尾工業株式会社 <sub>代表取締役</sub> 中川 靖浩

#### 3. 環境経営目標

当社の環境目標は、環境負荷の調査結果より以下のような目標を設定いたしました。 尚、目標設定の基準は2020年11月~2023年10月の3年間の平均値を使用しております。

历如百日			年 度	別環り	竟 経 営	目 標	
	取組項目 (目標項目) (単位)			2023年度	2024年度	2025年度	
			基準値	(2023年11月~	(2024年11月~	(2025年11月~	
				2024年10月)	2025年10月)	2026年10月)	
1	二酸化炭素排出量の			0.5%削減	1%削減	1.5%削減	
1.	一酸几灰紫炉四重沙	事務所	5, 238. 98	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	5, 186. 59	5, 160. 42	
	$(kg-CO_2)$	現場	99, 864. 76		98, 866. 05	98, 366. 81	
		全体	105, 103. 74	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		103, 527. 23	
	① 電片は田具の判決			0.5%削減	1%削減	1.5%削減	
	①電気使用量の削減 (総電気使用)	事務所	8, 075. 99	8, 035. 61	7, 995. 24	7, 954. 86	
	(kWh)	現場	2, 287. 66	2, 276. 24	2, 264. 79	2, 253. 37	
	·	全体	10, 363. 65	10, 311. 85	10, 260. 03	10, 208. 23	
				0.5%削減	1%削減	1.5%削減	
	②ガソリン使用量の 削減	事務所	904.06	899. 55	895. 02	890. 51	
	(L)	現場	19, 256. 13	19, 159. 86	19, 063. 55	18, 967. 29	
	(2)	全体	20, 160. 19	20, 059. 41	19, 958. 57	19, 857. 80	
	③軽油使用量の削減			0.5%削減	1%削減	1.5%削減	
	(L)	現場	20, 900. 97	20, 796. 46	20, 691. 96	20, 587. 46	
				0.5%削減	1%削減	1.5%削減	
	④灯油使用量の削減	事務所	0.00	0.00	0.00	0.00	
	(L)	現場	151.06	150. 31	149. 54	148. 79	
	(1)	全体	151.06	150. 31	149. 54	148. 79	
2.	廃棄物の削減			0.5%削減	1%削減	1.5%削減	
	①一般廃棄物の削減 (kg)	事務所	149. 88	149. 11	148. 38	147. 62	
	②建設副産物のリサ イクル率向上(kg)	現場	958, 538. 89	設計 通			
3.	水資源使用量の削減						
(	年間水資源総使用量) (㎡)	事務所	123. 67	節水努力	節水努力	節水努力	
	自らが施工・販売・提 供する製品及びサービ スにおける環境配慮	全 体	環境活動 計画の 実施徹底	各現場につき 実施する	き1件以上の? る。(終了時!		
5. 環境保全の取組推進 (ボランティア活動の実施) 全			10回/年	10回/年 10回/年		10回/年	

- \*現場の電気及び軽油に関しては活動実施状況で評価します。
- \*産業廃棄物(建設副産物)は工事の件数や工種によって大きく左右されるため、 『設計書どおりの廃棄』『廃掃法を遵守した廃棄』を行う事を活動目標として 取り組んでいます。
- \*購入電力の二酸化炭素排出係数は0.389kg-C02/kWhです。(九州電力)

制改訂履歴	
2023年12月18日	制定

#### 4. 環境経営目標の実績

環境経営目標に対する達成状況は以下の通りです。

※ 実績値は、2023年度運用期間(2023年11月~2024年10月)の12ヶ月で、目標値は、 基準値(2020年11月~2023年10月の3年間の平均値)の同期間の0.5%削減を目標値 とする。

(区分事:事務所現:現場全:全体)

				( 区分 事:	事務川 現:現場	至:至1	4 )
取組項目				23年度目標値	23年度実績	達成率	判定
			分	(0.5%削減)	(11月~10月)	X27-X T	147/
1.	1. 二酸化炭素 排出量の削減 (kg-CO <sub>2</sub> )			104, 578. 28	186, 416. 68	178%	×
	①電気使用量の削減	kWh	事	8, 035. 61	7, 356. 00	92%	0
	(現場では発電機も使用)	KWII	現	2, 276. 24	6, 195. 00	-	_
		①ガソリン使用量	事	899. 55	944. 35	105%	×
		(L)	現	19, 159. 86	22, 701. 61	118%	×
	②燃料使用量の削減	②軽油使用量 (L)	現	20, 796. 46	48, 948. 34	235%	×
		③灯油使用量	事	0.00	0.00	_	0
		(L)	現	150. 31	0.00	0%	$\circ$
2.	廃棄物の削減と 建設副産物の 正常処理	①廃棄物の 分別計量 (kg)		149. 11	146. 59	98%	0
		②建設副産物 のリサイク ル率向上 (kg)		仕様書通り 処理する	すべて仕様書 通り処理をした (469, 519.00kg)	_	0
3.	水資源使用量の削減	(m³)	事	節水努力	62.00	_	0
4.	自らが施工・販売・ 提供する製品及び サービスにおける 環境配慮	実施状況 の把握	全	環境活動計画 の実施を徹底 する。	・9現場で 19項目実施 (※重複項目有) ・研修会を 受講した。	_	0
5.	環境保全の取組推進	<ul><li>①事務所周辺の清掃活動</li><li>②現場周辺の清掃活動</li><li>③環境ボランティア活動参加</li></ul>	全	10回/年間	10回/年間	_	0

二酸化炭素排出量(電力) の算定に使用した排出係数は、0.389kg-CO2/kWhです。(九州電力)

## 5. 環境経営計画、取組結果とその評価

項目	主要な環境経営計画の内容	取組結果とその評価	評価
	(1) 照明のこまめな消灯、清掃 を心掛ける	部屋を空ける時や、使っていない場所など、不要な場所の照明の消灯がたまに出来ていない事があった。清掃は定期的に行った。	Δ
電気使用量	(2) クールビズ・ウォームビズ の実践	接触冷感のポロシャツや空調服、暖かメットカバー、 ジャンパー等を継続して使用している。 2023年12月に吸湿発熱加工インナーを購入した。	0
の削減	(3) 冷房・暖房の設定温度は 控えめにする	冷房の場合は高めに、暖房類の場合は低めに温度設定することで電気使用量を抑えるようにした。	0
	(4) 節電タイプの電球の使用	継続して使用している。	0
	(1) エコドライブの徹底	安全運転を心がける事により、エコ運転に繋がっている。	0
燃料使用量	(2) 実経費の認識	工程会議の時に請求書で確認した。	0
の削減	(3) 車両・重機管理の徹底 (空気圧、オイル等)	各車両の責任者により管理(点検)を行い、メンテナ ンスも行っている。	0
	(4) リース品の見直し (品質・期間)	借りっぱなしにしない。 工程を工夫してリース期間を短くするようにした。	0
	(1) 使い捨てを減らす (事務用品など詰め替え等 の使用)	修正テープやボールペンは詰め替え品を使用している。購入する前に、詰め替え商品が無いか調べて買い物するようにしている。	0
	(2) ペーパーレス化の推進	複合機を活用しPDF化して管理している。メールで届いた文書は印刷せずに転送したり、画面上で確認するようにしている。	0
廃棄物の削減	(3) 建設副産物廃棄方法の遵守	各現場代理人への教育を行った。現場で発生した廃棄物は指定の業者へ収集運搬及び処理の依頼をし、マニフェスト管理票で管理を行い、社内検査にて確認した。	0
	(4) 建設資材発注時は仕様書を 再チェックして在庫の確認 を行い、残余資材の発生を 抑制する	在庫の確認を行い、残余資材の発生を抑制できた。	0
水資源使用量の 削 減	(1) 節水意識の高揚	節水への協力を呼びかけ、無駄が無いよう確認するようにした。使用に無駄は無かった。	0
自らが施工・ 販売・提供する製品及び サービスにお ける環境配慮	(1) 環境配慮型の建設機械を使用する (排ガス対策型、低騒音型、 低振動型、エコ操作型等)	排出対策型建設機械を全現場使用している。	0
環境保全の取組推進	<ul><li>(1) ボランティア活動の実施</li><li>(2) 事業所周辺の清掃活動</li><li>(3) 現場周辺の清掃活動</li></ul>	地域ボランティアに参加出来た。 事務所周辺や現場付近は常に清掃し、整理整頓に努めた。	0

(評価 ○: 出来た △: 一部出来なかった ×: 出来なかった)

## 6. 次年度の取組内容

		項	目			主要な環境経営計画の内容
						(1) 照明のこまめな消灯を心掛ける
電	気 使	用	量	の削	減	(2) クールビズ・ウォームビズの実践
						(3) 冷房・暖房の設定温度は控えめにする
						(4) 節電タイプの電球の使用
						(1) エコドライブの徹底
燃燃	料 使	± H	用 量 の 削	∅ 割	減	(2) 実経費の認識
73111		. /14		VA.	(3) 車両・重機管理の徹底(空気圧、オイル等)	
						(4) リース品の見直し(品質・期間)
		物の削減		(1) 電子データの活用 書類の共有化		
廃	棄		減	(2) ペーパーレス化の推進		
<i>)</i> -E		160	40 V) Hi	<i>1</i> /仪	(3) 建設副産物廃棄方法の遵守	
						(4) 建設資材発注時は仕様書を再チェックして在庫の確認を 行い、残余資材の発生を抑制する
水	資 源	使用	月 量	の削	減	(1) 節水意識の高揚
	らが施工 一 ビ ス					(1) 環境配慮型の建設機械を使用する (排ガス対策型、低騒音型、低振動型、エコ操作型等)
環	境保	全 0	取	組推	進	<ul><li>(1) ボランティア活動の実施</li><li>(2) 事業所周辺の清掃活動</li><li>(3) 現場周辺の清掃活動</li></ul>

#### 7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社に関連する主な法規制は下表の通りである。

- ・関連法規制の遵守状況確認を実施し、違反はありませんでした。
- ・地域住民からのクレーム及び訴訟等はありませんでした。
- ・監督・官庁からの指摘はありませんでした。
- ・現場での遵守状況は、安全パトロール中や工程会議・安全会議時などで常に確認しています。

以上

法規制等	主な内容	遵守状況
	廃棄物の減量その他その適正な処理	遵守
	産業廃棄物の保管義務、保管基準	遵守
	産業廃棄物の委託基準	遵守
廃棄物処理法	産業廃棄物管理票の管理	遵守
	報告書(様式3号)の作成、提出	遵守
	処理計画書(様式第2号の8)の作成、報告	該当なし
	実施状況報告(様式第2号の9)の作成、報告	遵守
	分別解体等実施義務	遵守
建設リサイクル法	再資源化等実施義務	遵守
	発注者への報告、記録の作成等	遵守
大気汚染防止法	計画書の提出	該当なし
八风行来的正伝	解体工事時の措置	該当なし
フロン排出抑制法	簡易点検の実施	遵守
プログ新山和町伝	解体工事時の措置	該当なし
騒音規制法	規制基準遵守義務	遵守
柳虫 目 人允叩 (公	特定建設作業の実施の届出	該当なし
振動規制法	規制基準遵守義務	遵守
3水39八光門(乙	特定建設作業の実施の届出	該当なし

## 8. 代表者による全体の評価と見直し結果

見直し日時	2024年12月	120日 13:00~15	5:00	場所 : 事務所		
参 加 者	中川社長	・青山EA-21責任者・	推進事務局(上米良・北)			
	前	回の指示		取組結果		
前回の	④環境関連法規制等一覧	表/遵守状況のチェック結果				
指示の	現場毎に必要な法令を確 させる事。	認し、朝礼及び週末会議にて周知	朝礼及び週末	R会議で周知させた。 		
取組結果						
イン	プット情報	評価		指示事項		
①実施体制		県南地区の受注を見込んで、小林 立した。	営業所を設	県南地区の工事を受注する。		
②環境経営方	針	見直したが、変更は無かった。		今後も継続して、周知徹底していく。		
③環境への負	荷の自己チェック結果	環境への負荷の自己チェックシー し、二酸化炭素排出量、廃棄物排 量(水使用量)等を把握した。		指示事項なし		
④環境関連法 況のチェック		「環境関連法規の取りまとめ(兼)表」 (2024.11.1遵守状況チェック書・許可書・マニフェスト・測定遵守出来た。	7) 及び契約	現場毎に必要な法令を確認し、朝礼及び週末会 議にて周知させる事。		
⑤環境経営目	標の達成度	環境経営目標の達成状況で把握し	た。	各現場、現場環境が違うので数値の把握をして いく。		
⑥環境経営計	画の実施状況	環境経営目標の達成状況で把握し	た。	朝礼及び週末会議にて周知徹底。		
⑦教育・訓練	実施結果	教育・訓練計画及び記録、年度事業計画書で 把握した。		今後も継続して色々な教育・訓練を実施してV く。		
⑧苦情を含むのコミュニケー		発注者、第三者、近隣住民とのコションはとれていた。 ・要望あり (0件) ・意見あり (0 ・苦情あり (0件) ・クレームあり	件)	今後も苦情0を目標に努力する事。要望も出来る限り対応するよう週末会議で確認する。		
⑨緊急事態の	準備及び訓練結果	建設機械オイル漏れ・故障時の火 対応訓練を実施した。	災発生時の	今後も緊急時に対応できるよう訓練していく。		
⑩問題点の是	正・予防処置の状況	未達の理由を明確にし、是正の判 た。検討した結果、是正が必要な かった。		今後も継続していく。問題点があった場合は、 その都度対処していく。		
①文書類の作 営レポート含		文書類はファイリングで確認 (環ポートは、見直しが終了後作成)	境経営レ	環境経営レポートを早急に作成する事。		